

イギリスの視覚文化

Visual Culture in England : 1820-2020

対面

科目提供大学名	甲南大学
担当教員	中島 俊郎 (名誉教授)
単位数	2 単位
最大授業定員	54 名
開講学期	後期 3 時限 (15 : 30 ~ 17 : 00) 水曜日 (9 月 29 日 ~ 1 月 19 日、11 月 3 日の休日は授業実施、12 月 24 日 ~ 1 月 6 日は冬休み期間)
成績評価	成績評価は、原則として筆記試験 (定期試験) を行わず、出席、平常テスト、レポート、授業中発表、授業期間中の成果をもって、総合評価を行います。 ▲以上のような原則ですので追試験・再試験は行いません。
テキスト	中島俊郎著『オックスフォード古書修業一書物が語るイギリス文化史』(NTT 出版、2011)
参考文献	授業中に随時指定する。
授業以外の学習方法	本、新聞、雑誌という紙媒体のなかだけで視覚文化は論じられているものではないので、ひろくテレビ、映画などの視覚媒体をも参照すると立体的に理解することができる。
その他の特記事項	特になし
講義概要	視覚文化を主軸にイギリス文化史のなかで起きる諸現象について検討する。過去の出来事を過去の出来事としてとらえるのではなく、たえず現在との比較において考え、認識できるようにしたい。
授業計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. インターネット時代の視覚文化 2. 風景画 3. 物語絵画 4. ギルレイの風刺画 5. ローランドソンの風刺画 6. クルックシャンクの風刺画 7. 雑誌『パンチ』の挿し絵、社会風刺 8. 絵画か写真か 一初期の写真 9. キャメロン、キャロルの写真 一不思議の国の写真 10. 記録、報道写真 一犯罪報道の中心に 11. 写真と文学 12. 気球とパノラマ 13. モンブランショーとアルプス登山 14. ロンドン・ショーの世界 一エレファント・マンを中心に 15. 映画とテレビ